都道府県別抗菌薬使用量統計

〇本データは、診療、調剤時に発生する診療報酬明細書、調剤報酬明細書をもとに集計しています。
医療費公費負担制度受給者のデータなどが含まれないことがあり、正確な使用量を示すものではありません。
データの取得時期により、これまでの公表値と変更がある場合がございます。
また、データソースが異なるため、販売量サーベイランス (http://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/020/20190902163931.html) とは数値が異なります。

〇表記されている数値は、人口と薬剤ごとのDefined Daily Dose（DDD）で調整した『標準化使用量』を表しており、
これをDID (DDDs/1,000 inhabitants/day) と呼びます。（参考：https://www.whocc.no/atc_ddd_index/ ）。
DDDは2017年1月1日時点のものを使用しております。

〇人口は、総務省統計局の人口推計 (https://www.stat.go.jp/data/jinsui/) を利用しています。

〇AWaRe分類はWHOが推奨する抗菌薬適正使用の指標です。
(参考: https://adoptaware.org/ 対応表: http://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/020/AWaRe_bunrui_2021_ver1.pdf)

〇その他、抗菌薬集計に関する用語に関しましては、こちらをご参照ください。（ http://amr.ncgm.go.jp/pdf/190903_glossary.pdf ）

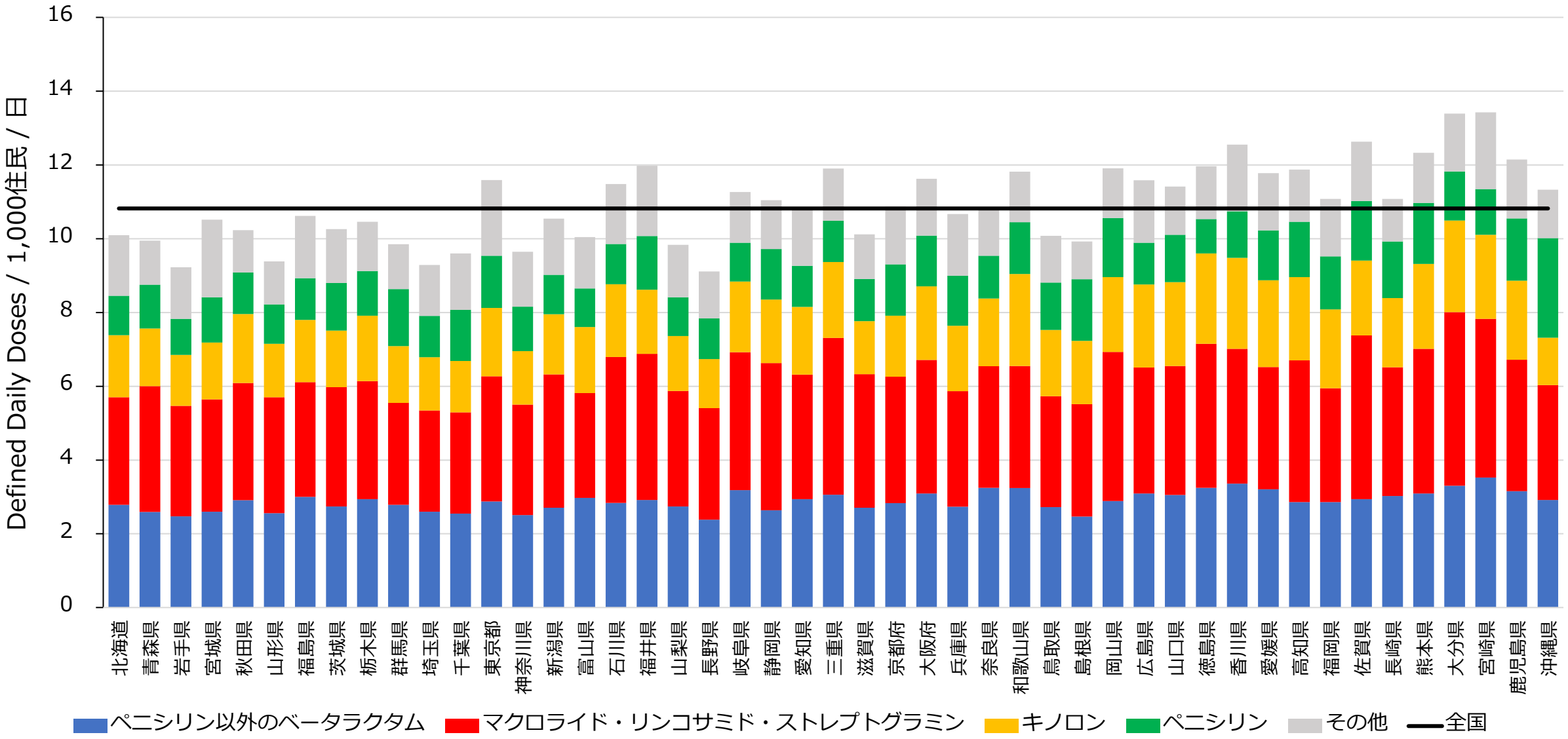
〇注意事項
・3, 4ページの『抗菌薬種類 (ATC 3)による集計』の各グループに含まれるATCコードは以下となっています。
ATC分類の詳細については https://www.whocc.no/atc_ddd_index/ を参照してください

ペニシリン以外のベータラクタム系: J01D (その他のβラクタム系抗菌薬) ※カルバペネムなども含む
マクロライド・リンコサミド・ストレプトグラミン: J01F (マクロライド, リンコサミド, ストレプトグラミン)
キノロン: J01M (キノロン系抗菌薬) ※ナリジクス酸やピペミド酸を含む
ペニシリン: J01C (ベータラクタム, ペニシリン) ※βラクタマーゼ阻害剤との合剤も含む

（※）本データ解析は、以下の研究に基づき実施されたものである。
・令和3年度新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業（厚生労働科学研究費補助金）
薬剤耐性（AMR）アクションプランの実行に関する研究（研究代表者：大曲貴夫）

内服+注射

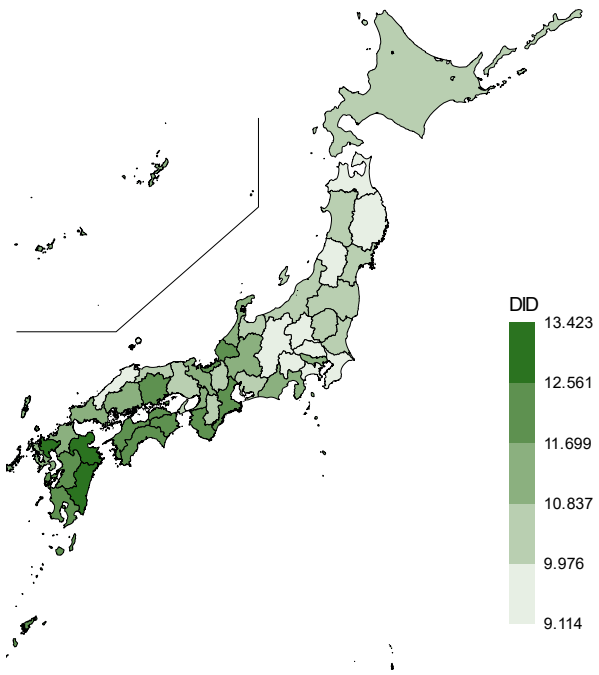
都道府県別 2020年 抗菌薬種類 (ATC3) による集計



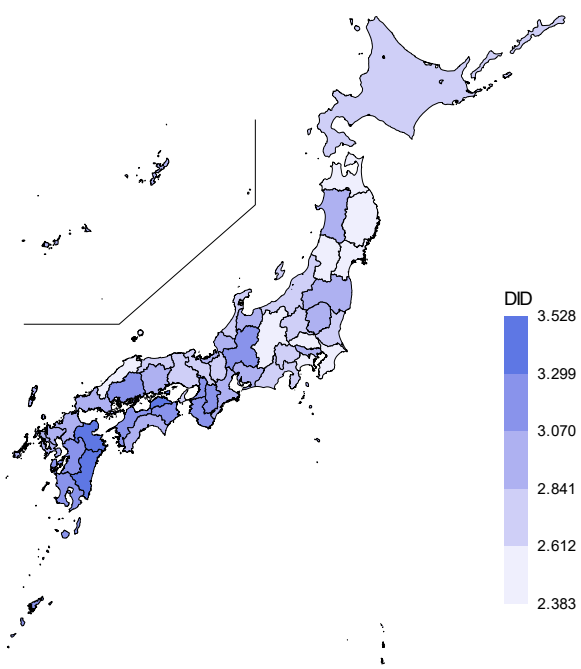
内服+注射

都道府県別 2020年 全抗菌薬抗菌薬種類別 (ATC3) 使用量マップ

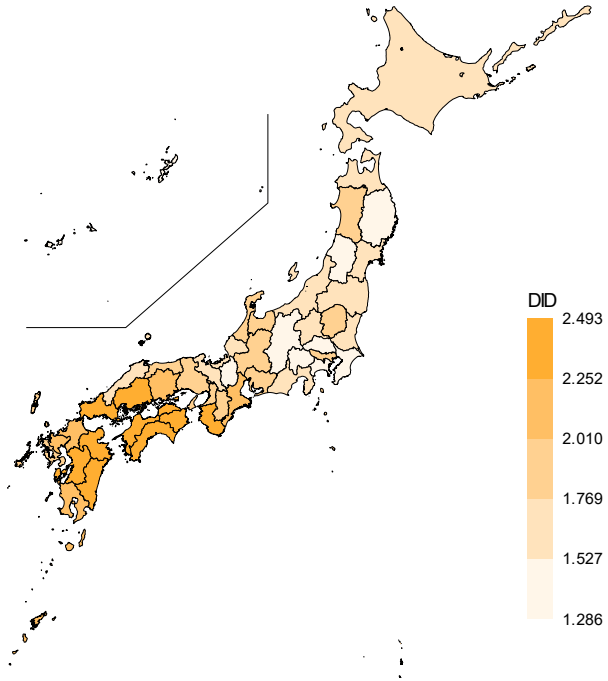
全抗菌薬合計



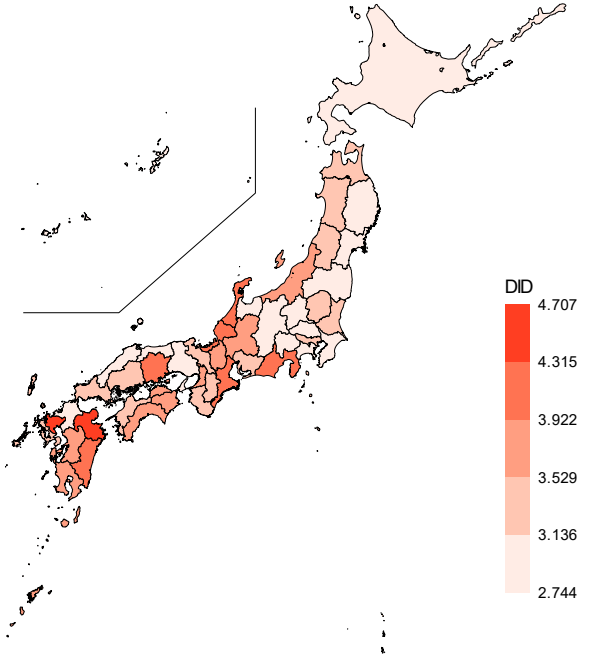
ペニシリン以外のベータラクタム



キノロン

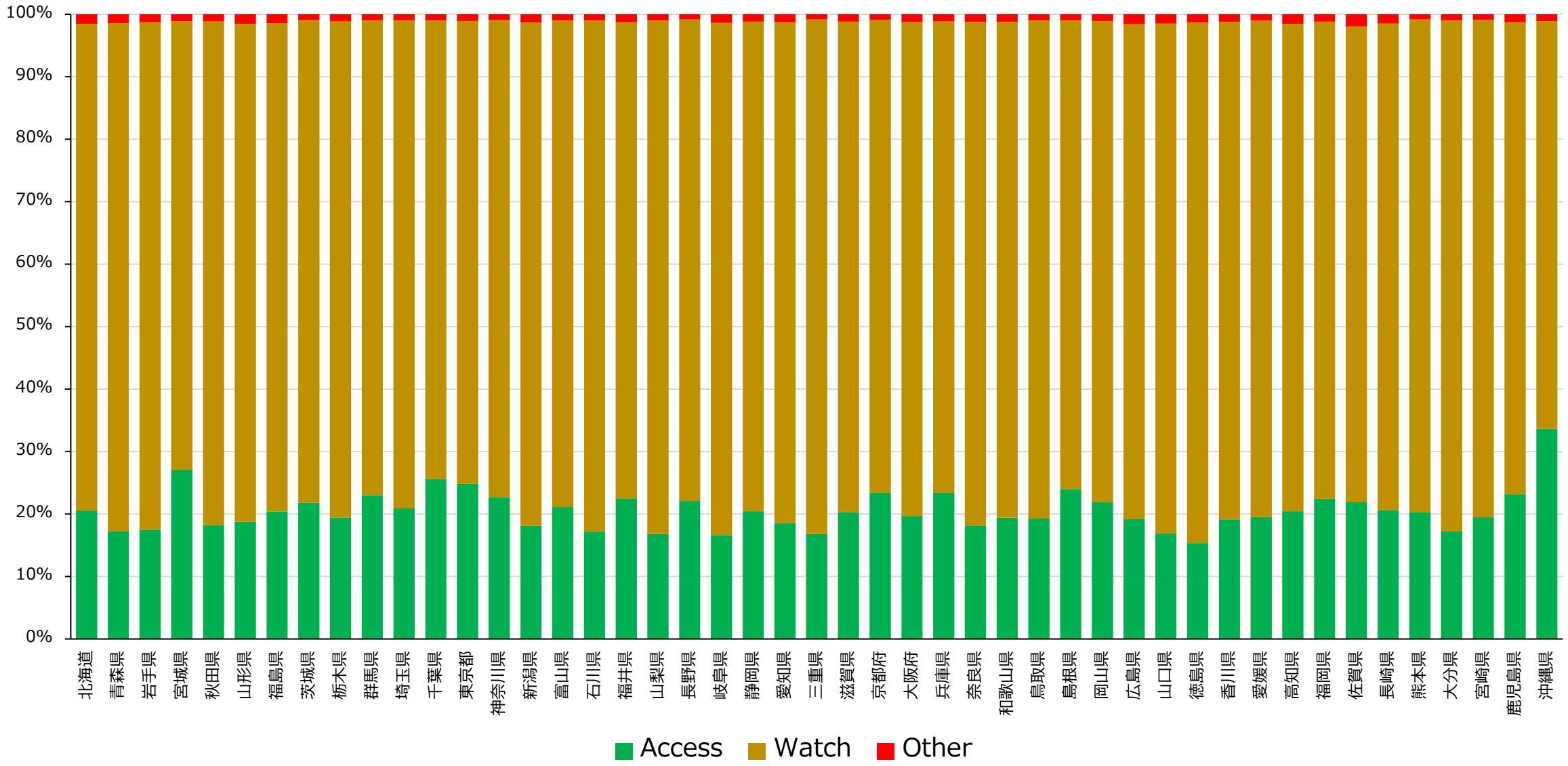


マクロライド・リンコサミド・ストレプトグラミン



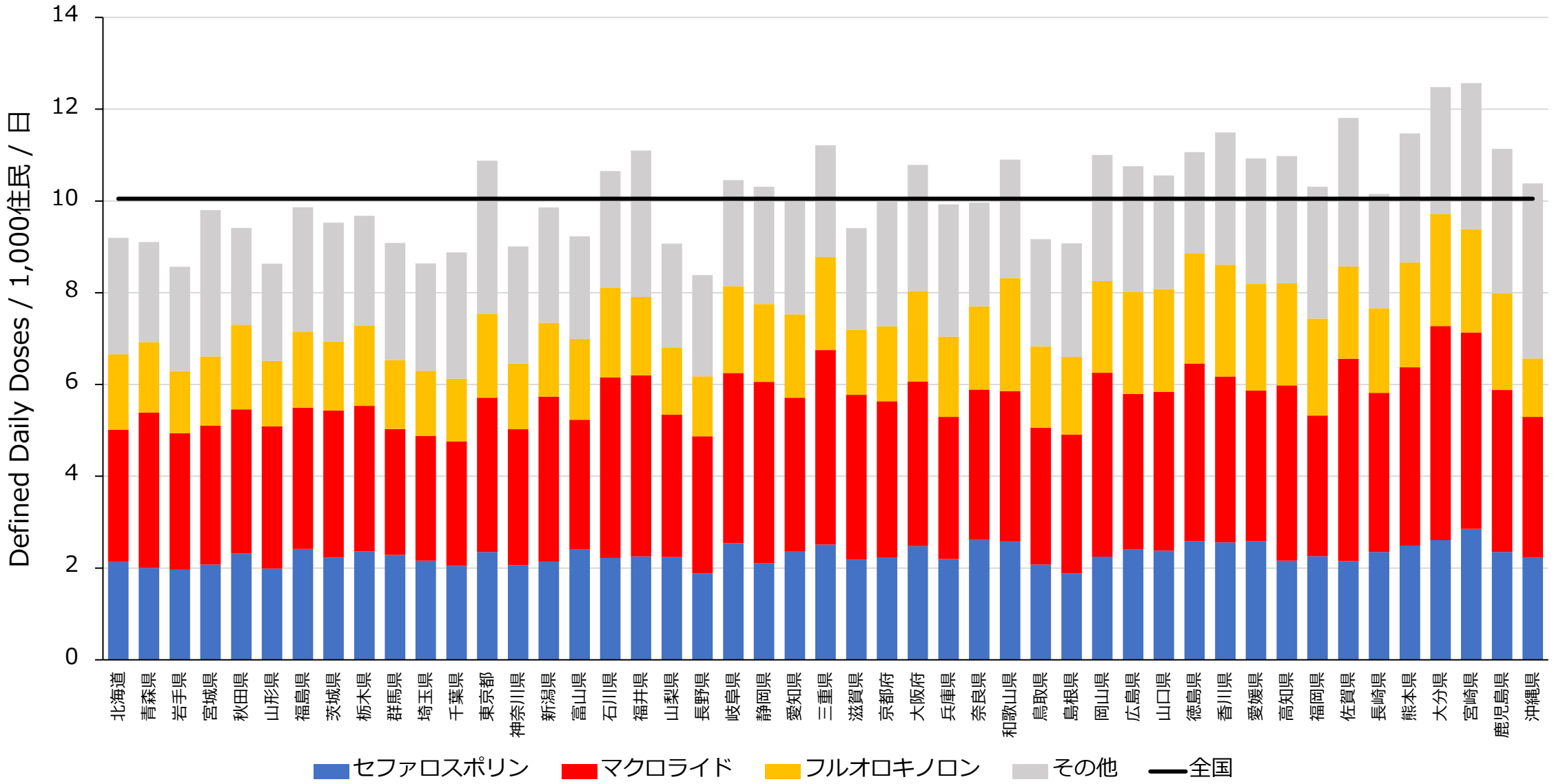
内服+注射

都道府県別 2020年 AWaRe分類による抗菌薬使用割合 (%)



内服

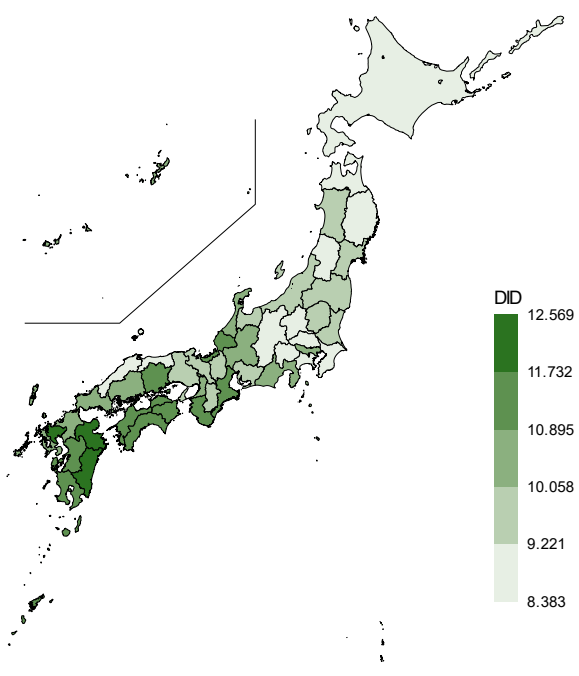
都道府県別 2020年 内服抗菌薬使用量 (ATC4)



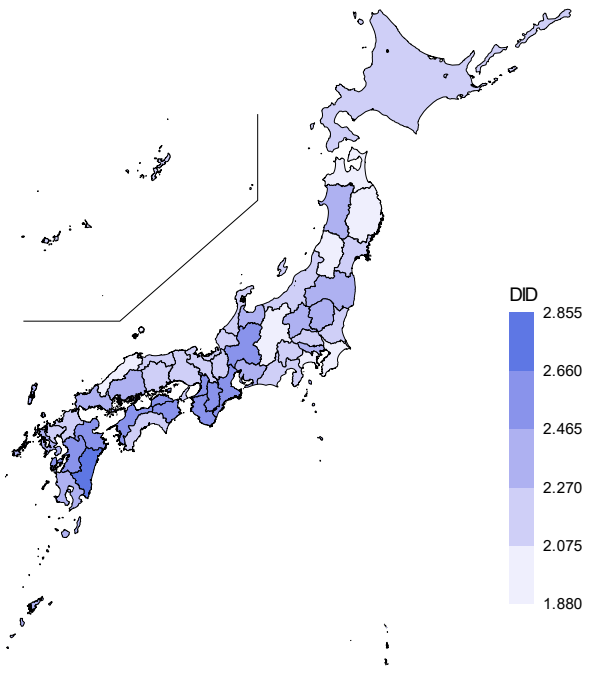
内服

都道府県別 2020年 内服抗菌薬種類別 (ATC4) 使用量マップ

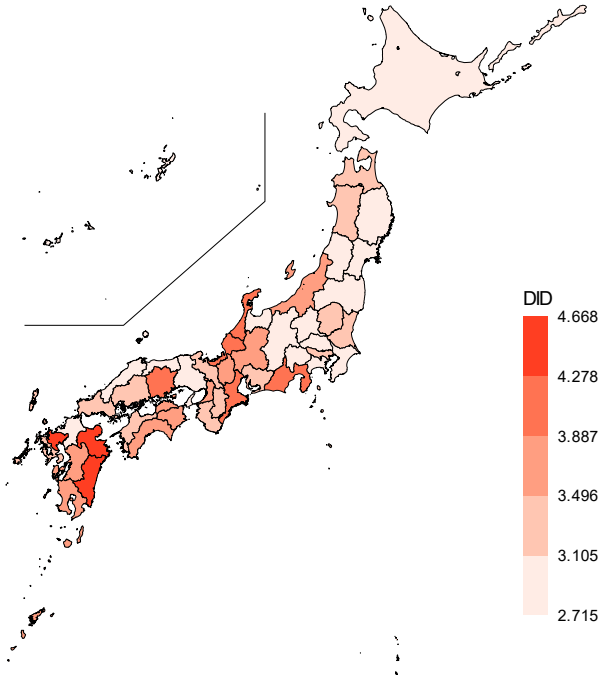
全抗菌薬



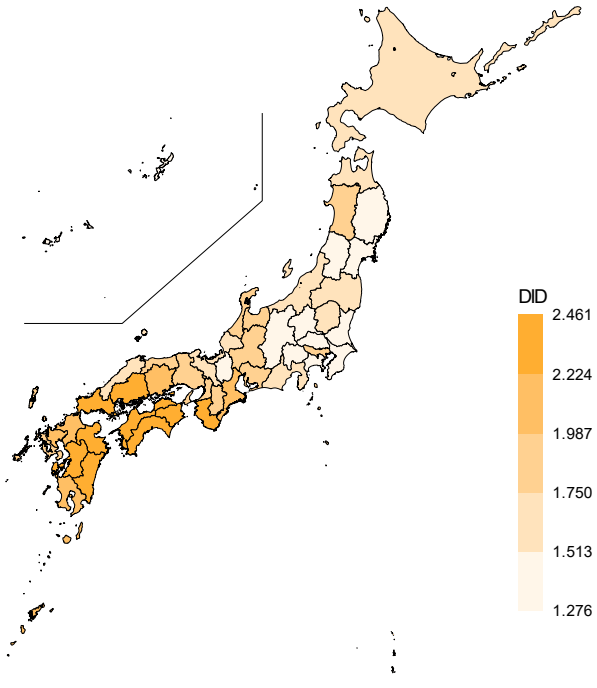
セファロスポリン



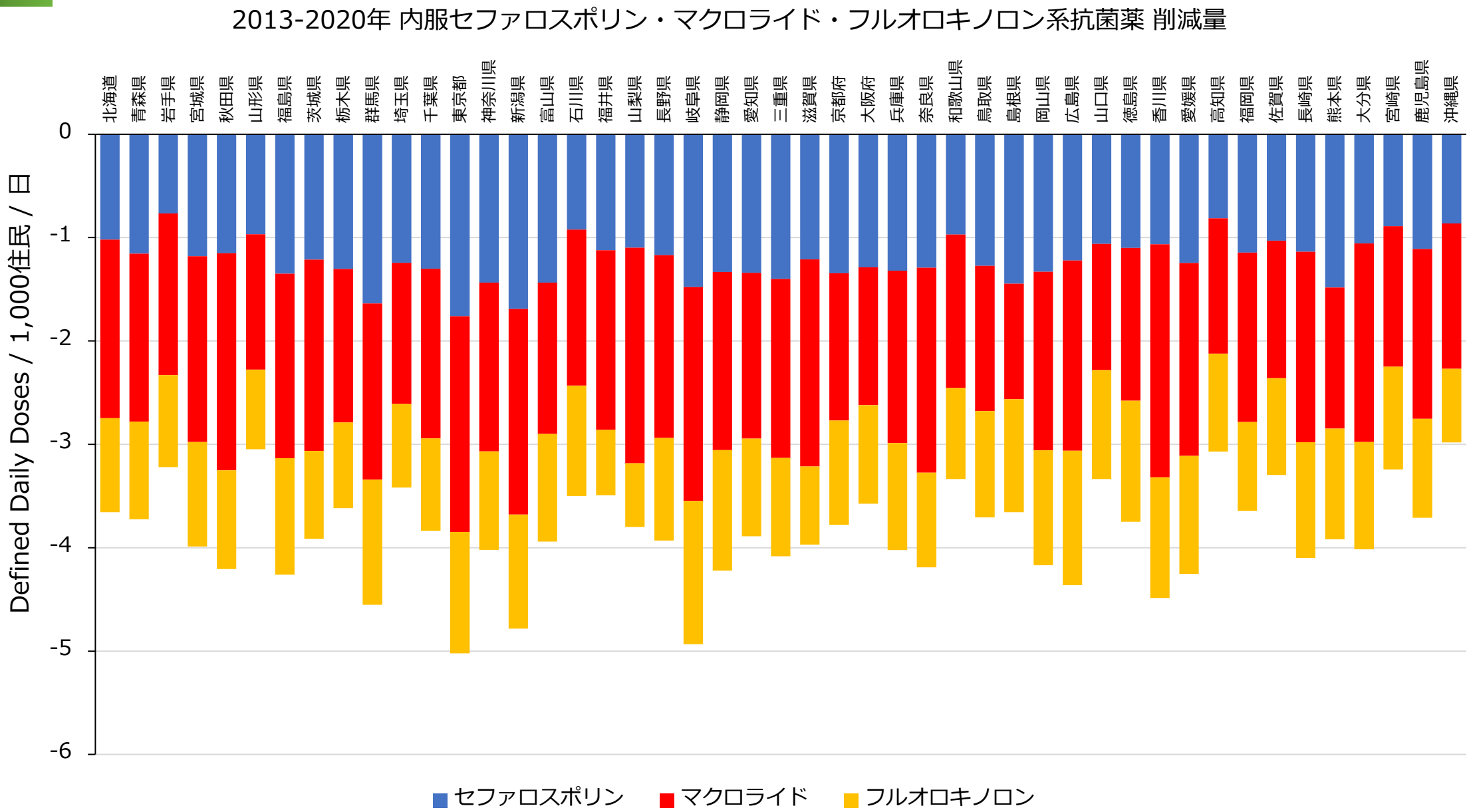
マクロライド



フルオロキノロン



内服


2013-2020年 内服セファロスポリン・マクロライド・フルオロキノロン系抗菌薬 削減量
Defined Daily Doses / 1,000住民 / 日
0
-1
-2
-3
-4
-5
-6
北海道
青森県
岩手県
宮城県
秋田県
山形県
福島県
茨城県
栃木県
群馬県
埼玉県
千葉県
東京都
神奈川県
新潟県
富山県
石川県
福井県
山梨県
長野県
岐阜県
静岡県
愛知県
三重県
滋賀県
京都府
大阪府
兵庫県
奈良県
和歌山県
鳥取県
島根県
岡山県
広島県
山口県
徳島県
香川県
愛媛県
高知県
福岡県
佐賀県
長崎県
熊本県
大分県
宮崎県
鹿児島県
沖縄県
セファロスポリン
マクロライド
フルオロキノロン